

改造運動の根本問題

——神戸に於ける講演——

ドクトル 三田 谷 啓

世界の表に大きな火事が起つて數多の財貨を消滅し幾多の人命を燼灰に化した處の過去五年間に於ける世界的大火こそは實に前古未曾有のものである東京に於ける神田の大火や大阪北區の大火は到底比較することは出来ないのである而して之に依りて或國は破産し或國は荒廢し又或處では類焼は免れても火の子が飛んで來たために少なからぬ損害を被らねばならぬ様な破目に陥つたのである。かゝる大火も昨秋やう／＼にして鎮火したが今日はその整理をせねばならぬ時と成つて來たのである。そこで今日しきりに叫ばれる聲は改造と云ふことである。而して此の改造は凡ての社會に於て必要なのである。即ち教育、宗教、商工業、醫學、政治などあらゆる方面に亘つて色々の意味を持つて居るけれども今日は其の最も根本的問題に就いて考えたいものであるそこで私共が先づ第一に考えねばならぬ事は此の度の

大災害の中でも多くの人命を犠牲にしたと云ふことであるが此の人間が一夜にして作る事が出来るであらうか。尊い生命を一朝にして造ることが出来るかそう考へて見ると人それ自身程大切なものはないのである。今日の問題はこの人の改造であつて而もそれは各々個人／＼の改造をしなければならぬ。然らざれば今日絶叫されて居る世界の改造は到底不可能であるこれには母親の保護と兒童の教育とが必要であるこの二つの問題は先づ家庭より始められなければならぬのである。

○家庭に於ける母親の保護

第一に母親の權利と義務が認められなければならぬ。即ち母親は身體と精神を十分保護されて生活し強い子供を生むといふ權利と子供が生れたらば十分教育と養護を施す義務をもつて居るのである。夫た

る者はその妻を合理的に保護尊重すると同時に他の家族の人々も同様の心掛で接することが肝要である殊に妊娠中は特別の注意を拂つて出来る丈寛裕にしてその變化し易き精神状態に障りのない様に自らも慎しみ他人も同情しなければならぬ。突發的事件等に對して平素餘り感動しない様な事柄でも妊娠中は着しく感じて其の影響はやがて胎兒の上に及ぼすもの故些事に至る迄注意を拂つて生れる子供の幸福を考へねばならぬ。

○家庭に於ける子供の教養

子供が生れた後はこれを十分注意して教養せねばならぬ。即ちその教育の仕方には合理的教育法及び非合理的教育法の二通りがある母親の無知なために非合理的な教育を受けて取り返しのつかぬ運命になつて終る者もしばしばある我が國に於ける幼、少年及び青年の死亡率を見るに他の文明國よりもその數が多い中に就きても十五歳より二十四、五歳までの間に於て最も著しくその關係が見える。而して其の死亡する原因の多くは肺結核で男子よりも婦人に多いのは特に注目すべきことであるこれは國家として

も最も大切なる而も重大の問題にして一面家庭に於ける重大な責任である。畢竟強く成長し得る子供も家庭に於ける十分なる注意保護のないために中途にして病を得る者が多い胸廓の測定は従來卷尺でその周圍を計るのであるが更に進んで其形状を見ることが出来たならば一層意義あることになるのである。

これには鉛の帶と骨盤計と水準器があればそれで胸形が測定される。斯くて胸廓の形を見ることが出来る。そうするとその胸の厚さ幅、形状の普通なるか異常なるかも知れるし又左右不同の有無も知ることが出来るこれはこどもの養護に向つて極めて大切なことである。

私共がこどもの身體を検査をする場合に親の不注意の點を見出すことが少からずある。これはこどもの爲めに誠に氣の毒である。

○不合理の育児法

今その一、二の例をあげると。

(イ) 衣服を多く着せ過ぎる

之は肺のつよい者でも呼吸器に妨げをなすが元來弱い者は猶々害せられるのである。又帶を高いとこ

るにきつくする習慣も是非避けねばならぬ。

(ロ) 運動についての不注意

運動は最も大切なものである。之に依つて子供は眞の發育を遂げて居るのである我々の祖先が四肢で前進して居たものが足二本で歩ける様に成つたのは餘ほどの進化である其の進化が子供に在りては僅二ヶ年にして出来るのであるから餘程の苦心をして身體の個々の練習をするのである。先づ首を据える次に之を自由に動かして平均をとるのである而して凡ての順序を経て成人するのである故に子供の自然の運動を妨げたり又はし過したりすると發達の上に害あるものである。然るに世間には往々智職的階級の兒童虐待とても云ひ度い様な事實のあるといふことは誠に遺憾に堪えぬ次第である。

私は大阪市に於ける凡そ七百人の學校兒童の一日曜日の前及び午後二つに分けて其の遊び法を調査して見た處其の答案には種々様々のものがあつたが比較的外出が少なかつた。今一つは女學校の生徒が同じく一日の家庭生活を如何にするかといふ事を調査したが午前と午後に出した子供の數は百人中に二、三人の割合に過ぎなかつた。都會生活をして

居るものは郊外の散策を試みてよい空氣を吸ふて十分の活動をすることが最もよいのである。

之は家庭の親たるものも十分に注意せねばならぬ處が世間にはそういった注意の行き届かないものやまたは母親に依つて誤つた運動をさせられて居る場合が多くあるのである。

又これは子供に限つたことではないけれどもことに物質交換の盛んな子供の皮膚はなるべくこれを清潔にしてかつこれを強壯にしてやらねばならぬ。元來日本人は入浴することを好みて度々する習慣をもつて居るがこれにも往々誤つた考を持つて居ることにあの繊弱な皮膚の持ち主なる子供を攝氏四十度以上の高温に入れて再び寒い風にあてるといふ様な至つて不衛生的の矛盾したことをあへてやつて居るといふことはよろしくない。また夏季に行はれる海水浴なども子供の體質によつて適不適のある事も考へないでしたために思はぬ結果に成ることがまゝあるのである。要するに兒童の保護は凡て合理的なることとでなければならぬ、そこで母親は常に彼等の子供の要求が何物であるかといふことを觀察するために鋭敏なる眼をみはつて耳を開いて彼等の泣き聲を聞

かなければならぬ。こうした考をもつて児童を保護教育して身體の壯健なる處の健實な個人を造るといふことであるがそれには今一つ大きい意味のものを考へて見なければならぬそれは社會的母親の保護である。例へば母親保險の如き妊婦、産婦保護の如きものである。大阪にはこの理由によりて近いうちに市立産院が出来ることになつて居る専門の醫者、産婆、看護婦が居て産を樂にさせる仕組である斯かる種類の施設が將來多く出来なければならぬと思ふ次は社會的児童保護である。例へば乳兒院、拙兒所、學校児童收容所、虛弱児童收容所、林間學校、精神薄弱兒收容所、感化院等の如きものである、斯かる種類の多きに涉れる保護事業を進捗させて行くには統一的機關が必要である。例へばハムブルヒには兒童保護局と云ふものが今から十年程前に設けられて先年物故されたペーテルセン博士が局長であつたその下に働いて居る局員が七十人もあつて間接に援助して居る紳士淑女の數は無量幾千人に上るといふことである。何と盛なことではないか大阪に設けられて居る兒童相談所の如きものも將來はあちらこちらに多く設けられることが大切だと思ふ又兒童研究

所も是非早く建てる必要がある日本のこどもにつき研究されて居るとは今日では割合に少い西洋のこどもの研究を翻譯して日本の子供を取扱ふ時代ではない。今日は是非日本人自らが日本のこどもの身體と精神とにつきて學術的に研究調査する時である。

婦人會の如き團體が一致して母親の保護とこどもの教養の問題につき大に仕事をするときである。望月さんは保育會の恩人又神戸兒童學會の世話役でこどもの爲めに大に盡力して下さつて居るが更に進で神戸婦人同盟會を組織されては如何。私はこれが本になつて大阪婦人同盟會、東京婦人同盟會など言ふものが出来、後には大日本婦人同盟會が成立してこれが更に萬國婦人同盟會と結びつき大會の時には日本から代表者を出すやうに希望するのである最後に個人の社會的自營の必要を一言したいと思ふアメリカのカリーネギーは一代の間に巨萬の富を造つた人であるが此の人は自己の富は社會から得たのであるから自分も社會の爲めにこの富を用ひねばならぬと言つて社會事業の爲めに多大の財産をさげたまことに貴い心掛ではないか。これが私の所謂個人の社會的自覺で國民の頭の中に燃えて來なければ社會の

進歩は出来ぬ。富める者が金を出すばかりでなく、力ある者腕ある者識ある者各々その持てるものを捧げ、て社會の向上を謀らねばならぬ。これが改造の根本になるのである。(文責記者 神戸幼稚園保姆志賀スエ)

我園の一日(一)

さきに、各地の幼稚園に、ある一日の保育の有りのままをお知らせ下さる様にお願ひ致しました處、御多忙にも拘らず、皆様より極めて有益ある御返事を頂きました、御寄稿の全部を掲げて新春の本誌を飾りたいと存じました處、非常の多数にのぼり、到底一回につくす事は出来ませんので、已むを得ず本誌には僅にその中の二つ三つを御紹介申上ぐる事にとり、尙、二月號は特に「我園の一日」のために本誌の紙面を充分にあてたいと思つて居ります。遠く滿州、朝鮮、臺灣のはてまでも、その保育振りを坐ながらにして拜見する事の出来ますのは、誠に興味深い事と存じます。尙、御多用中、お返事下さいました方に厚く御禮申上ます、(編輯係)

——次 第 不 同——

名 古 屋 石 田 馥
松 若 幼 稚 園

我園は、緑深い昔滑かな奥まつた、普通民家を借り受け、大正六年菊の香薫る、十月二十三日開園いたし茲に二、三年を重ねてまゐりました。

此の間、如何にせば、幼兒のあらゆる欲求に満足させることが出来得るやと、苦心を致したが、何分不完全な設備では思ふ様にもならず、たゞ古く出来た石垣を圍んだ、七八十坪の庭が活動の中心場所でありまして、ほんの草木が眞の玩具眞の友達眞の教育者でありました。されば、いつまでもこの小さい建物に満足してある譯にはゆかず、大膽にも本年七月、南へ二丁離れた所に、園舎建設の工を起しました。

月は變り九月下旬園舎は、北側一棟、保育室五、保姆室小使室附添室便所玄關北南廊下、が出来上りました、長い休みに、あき／＼た、幼兒を收容し保育をし始めました。しかし、(遊戯室兼會堂)の大建物や、(園長住宅)の建築工事が盛んに行はれてありますから、運動場には用材が山の如く積んでありますので、これ